

平成18年度地域づくり表彰 表彰事例 概要(8事例)

団体名 道府県名,市町村名 (活動開始年度)	活 動 概 要
まぶりとと衆・早池峰の会 岩手県遠野市 平成9年度	市内の古民家(「曲り家」)を移築した、農業体験型観光施設「遠野ふるさと村」の館内で、観光客に対して、昔ながらの農村のもてなしを行うため、毎日2人ずつ当番制で、炉端を囲みながらの昔話語り、曲り家の維持管理、地域の伝統行事・文化の伝承活動等を行っている。 ※「まぶりとと」とは、「まぶる(守る)人」という意味の方言からつけた名称
とりで 取手アートプロジェクト 実行委員会 茨城県取手市 平成11年度	地域の大学と連携した市民参加型の協働アートプロジェクトとしてスタート。これまで野外アート展と在住作家のアトリエ公開「アートレジデンス」を交互に実施。近年では文化芸術によるまちづくりの推進役であるアートマネージャーを育てる人材育成事業TAP塾を実施し、アートによるまちづくりを推進。これらの活動により商店街の活性化に貢献している。
かたうら 片浦レモン研究会 神奈川県小田原市 昭和53年度	白カビ防止剤を使用したレモンの輸入が認められたことで、消費者にレモンの不買運動が起こり、これを「きっかけ」に小田原市片浦地区のレモン生産農家が、安全・安心を目標に、同地域の気候風土に適したレモン栽培の研究を立ち上げた。また、企画・開発した商品「小田原れもんわいん」は2003年国産ワインコンクール(甲府市で開催)のフルーツワイン部門で入選し、レモンを通した様々な活動を行っている。
あかぎ 赤城コマランド 新潟県長岡市 平成12年度	四郎丸地区の高齢化や学校の荒廃が社会問題化してきた10年前、地区の殆どの組織・団体が参加して「教育環境づくりの会」を結成。その一部門が地区の農家から3,000坪の山林を借りて冒険遊び場の建設に着手。“子供達を自由にのびのびと遊ばせよう”と地区民あげての活動を開始し、5,500本を越える植林と保育を行い、ログハウス建築や子供達と遊具づくりなど活動を行っている。
あつと A T 2 1 倶楽部 愛知県豊田市 平成5年度	足助の観光の将来を見据えた計画や、具体的に実践できる場を提供するため観光に関わりのある事業者の若手を募って発足。町内の観光施設の見学。県外のまちづくりグループとの交流から始め、地域の再点検とまちづくりの学習を経て、地域資源を活かした活動として、中馬のおひなさん、塩の道お宝展、たんころりんなどを展開。また、県内外の地域活動団体への視察研修を積極的に行い、そのとき限りの訪問だけに終わらず、その後も相互に交流が続いている。
やくもこくさいえんげきさいじつこういんかい 八雲国際演劇祭実行委員会 島根県松江市 平成10年度	国内初といわれる公設民営の劇場「しいの実シアター」が完成し、その後、地域住民・劇団あしぶえ・八雲村行政の三者が一体となり、「演劇によるまちづくり」をスタートし、演劇楽校やシンポジウムの開催、国内外公演など活動を広げている。そのメイン事業として「八雲国際演劇祭」を企画し、平成11年のプレ大会の成功を踏まえ、13年、16年と開催し、いずれも大反響を得ている。
あわにんぎょうじょうり 阿波人形浄瑠璃「勝浦座」 徳島県勝浦町 昭和21年度	江戸時代から約200年続く阿波人形浄瑠璃の人形座。阿波人形浄瑠璃の保護と伝承に務め、地域内でのイベント等における公演を活発に行うことにより、住民の伝統文化への意識の向上。地域内外の交流促進に寄与している。また、地元勝浦高校民芸部へ人形浄瑠璃指導を昭和37年から続けており、後継者の育成を通して、地域伝統芸能の後世への伝承、保存に務めている。
ふるさとの家 香川県東かがわ市 平成13年度	五名地区の物産館及び交流拠点の場として、郵便局の旧局舎を改修し、「ふるさとの家」がオープンした。「ふるさとの家」では、他の地域にはない五名地区の魅力を自ら発信するために、地域で採れる野菜などの特産物や、本来は害獣であるイノシシを使った珍しい料理を提供するスペースを拠点施設内に設けるなどして、地域内外の交流拠点とし、にぎわいを創出している。